

2005年夏、二人だけの北海道ツアーが
その後の「男歌～昭和散歩～」 「クレイジードッグス」の
プロジェクトへと繋がることになる。
二人の物語はここ北海道から始まった。



2014.5.8 (木)

Open 19:30 / Start 20:00

会場：KRAPS HALL

[札幌市中央区南4条西6丁目5番 タイムズステーション1F]

料金：前売 6000円 当日 7000円
(+1ドリンクオーダー500円)

チケット：ローソンチケットにて3月1日発売
[Lコード:18324]

お問合せ：KLAPS HALL [011-518-5522]

職人工房 Presents

木村充揮 × 近藤房之助

Sapporo Special Live

木村充揮 Atsuki Kimura

1975年、ブルースバンド「憂歌団」のリードボーカルとしてデビュー。『天使のダミ声』と称される独特の声の魅力、独特の歌い回しで長年大阪を代表するボーカルとして活躍。1999年惜しまれながらも「憂歌団」は無期限活動休止に入るが木村充揮は精神的にソロ活動を開始しロック、ポップ、ブルースにとどまらず演歌、流行歌、ジャズ、民俗音楽にいたるまであらゆるカテゴリーを包括したボーダーレスなシンガーとして活躍の場を広げる。2006年、デビュー30周年を迎え「30th Anniversary」コンサートをNHK大阪ホールで2日間開催。これを機に「30th Party」、『小さな花』とアルバムを2タイトル連続リリースするなど、ますますパワーアップする。2012年、初の自叙伝となる『木村充揮自伝～憂歌団のぼく、いまのぼく』を出版し、2013年「憂歌団」再起動を発表した。
木村充揮オフィシャルHP [http://www.dandyion.info/]

近藤房之助 Fusanosuke Kondo

日本では数少ないブルース・シンガー。76年京都にて伝説のバンド、BREAK DOWNを結成。90年にLIVEアルバム『ハート・オブ・ストーン』でソロ・デビューを果たす。また、同年、企画バンド「B.B.クイーンズ」に参加、テレビ・アニメの主題歌「おどるボンボコリン」をリリースする。この老若男女楽しめるパーティー・ソングは超絶的なセールスを記録し、その年のレコード大賞をも獲得するに至った。コミカルなキャラクターを売りにした芸能界的な活動と、B.B.KING、OTIS RUSH、BOBBY "BLUE" BLAND、STUFF など海外のミュージシャンと共演する傍ら、日本に於いても数多くのミュージシャンに影響をあたえ続け、コアなファンをつかんで離さないディープな音楽活動の両立を果たしている。
近藤房之助オフィシャルHP [http://www.fusanosuke.net/]

柳原 旭 Akira Yanagihara

2005年大学卒業後、世界的ピアニストの山下洋輔氏の新グループにレギュラーベーシストとして抜擢され、同グループでの日本各地での公演を始め、台湾 Jazz Festival、RisingSun Rock Festival、『題名のない音楽会』等のTV番組などに参加する。以降、青山テルマ、Zeebra、Rickie G等をはじめ、様々なアーティストのライブやRecに参加しはじめる。2012年より近藤房之助 1968Bandに参加。高い雑食性で培われた独自の感性でジャンルレスなCompose、Track Makingをも手掛けるベーシスト。

